

<親御様へのアンケート結果について>

・利用する児童及び親御様の意向、障がい児の特性やその他の事業を踏まえた支援を提供するための体制整備の状況について

施設の移転に伴い、広いスペースの確保は出来ているが、今後の利用者の成長を考慮したうえで、訓練室等のスペースも確保できるようにしていく。また、バリアフリー化にも特化する等も視野に入れる必要がある。ただ頂いた回答で多かったのは、「施設移転に伴い施設内を見たことが無かった」があった為、父母会等を定期的に取り入れていく等していき施設運営の在り方を検討していく。

・従業員の勤務体制及び資質向上のための取り組み状況

定期的な職員ミーティングを行うことで職員間の認識や方向性を統一させて資質向上を目指す他、ブラッシュアップに繋がる、資格や研修があれば職員に受講を薦めていき資質向上に努める。

・関係機関や地域との連携、交流等の取組状況について

回答の中では はい・どちらともいえない といった回答があった。地域間の交流としては、毎年11月頃に生野区交流フェスタを開催している。また、毎月、社会福祉協議会と地域のデイサービスさんとの学童期連絡協議会を開催している。

・利用する障がい児とその保護者に対する必要な情報提供、助言その他の援助の実施状況

この回答に対しては、回答がわかれた。施設利用時に施設の様子や出来事を連絡帳や口頭にてお伝えさせては頂いている。しかし直接親御様がいらっしゃらない等の場合もある等から、全親御様に児童の様子を伝えることが出来ていない事もある。定期的な父母会等を開催できていないため、将来ビジョンとして開催することを検討していく。

・緊急時等における対応方法と非常災害対策

施設では定期的な消防避難訓練及び、年に数回生野消防署の方にご協力の上で災害等を想定した訓練の実施、また代表社員が定期的に防災会議に参加、地域防災計画を確認。地震発生時の避難勧告、避難指示発令時の町会一次集合場所と災害避難所を確認。

・ サービス提供に係る業務改善を図る措置の実施状況

評価表(アンケート調査)を実施しているが、PDCA サイクルが機能するように職員に周知させ、今後も継続出来るようにする。また、あわせて PDCA サイクル以外の理解についても定期的な研修を取り入れて行き、継続でかつ定期的に開催できるようにする。